

ふれあいミーティング in 穂高商業高校



旧生徒会長の窪田拓真さん。「私たち3年生はこれで卒業し、安曇野を離れる人もいます。そんな中でも安曇野で送った学校生活を胸に、魅力を発信できたらと思います」と語りました。当日は、市長ほか、教育長、政策部長、商工観光部長、教育部長が参加。高校と地域の関わりを語りました。

意見交換会に先立ち、同校で行われた「課題研究発表会」を視察。3年生が、「地元発見」、「eコマース」、「簿記講座」など8つのグループに分かれ、全校生徒の前で研究成果を発表しました。



生徒の質問に答える宮澤市長。市では、若年層も含めた幅広い年齢層からの提案や要望を把握し、市政に生かすため、「市長と市民のふれあいミーティング」と題した意見交換会を開催。特定のテーマを設け、対話によって、共にまちづくりを考える取り組みをスタートさせました。

松本との直通バスを

生徒 英語ボランティアの活動で、松本城に訪れた外国人観光客にインタビューした際、「安曇野までの位の移動時間がかかるか」という質問が多く聞かれました。松本市と安曇野の観光地をつなぐシヤトルバスがあれば、外国人観光客の誘客につながるのではないのでしょうか。

生徒 市がホームタウンのサッカーチーム松本山雅FCは、シニア世代のファンが多いのが特徴。スタジアムまでのシヤトルバスがあれば、ご年配のファンにも優しく、1500人以上来場するアウェーからのファンを安曇野に誘客する

ことにもつながると思います。
市長 行政はどうしても費用対効果を考えざるを得ない部分がありますが、かつては路線バスがありました。利用者が少なくなり廃線になった経過があります。検討の余地はありますが、厳しい状況といえます。また、先ほどシェアサイクルを紹介しましたが、松本市でもシェアサイクルがスタートしました。松本から電動自転車で安曇野に来て、電車で帰るといった広域的な取り組みも可能になると思います。バスよりも低コストで効果的な場合もあるので、検討していきます。

地元企業の魅力を子ども達に伝える取り組み

生徒 毎年10月、小学生を対象にした「キッズビジネスタウンほたか」という職業体験イベントを開催しています。安曇野には魅力的な企業が沢山あるのに、紹介しないのはもったいないと言われたことがありました。私自身も職業科の生徒なのに、あまり知りませんでした。幼い頃から「働く意味」に触れ、「こういう仕事があるんだよ」という会社があるんだよ

と体験してもらうことは、市内唯一の商業高校の特色を生かせる取り組みだと思っています。
市長 安曇野の優良企業を知らない人が多いのも事実です。市では民間企業が作った子ども向けの紹介冊子を配布するなどしました。穂高商業の取り組みは、大いに参考にさせていただきます。
生徒 キッズビジネスタウンは240人の小学生が参加し、前年比1.4倍となりました。働いて得たお金の大切さを知ってもらう良い機会になったと思います。

地域の担い手として

教育長 皆さんには地域を支える大きな力があります。防災の担い手、スポーツや文化活動での小学生との交流などにも期待します。穂高商業高校が築いてきた歴史や文化を学び、ここで学ぶことを誇り高く思うとともに、後輩たちが目標とする存在になってください。

市長 本日は皆さんの考えや学校での生活を知る貴重な機会となりました。高校での学びをこれからの人生に生かすとともに、地域コミュニティの担い手としても活躍いただければと思います。

英語ボランティア「旅行者に安曇野を紹介」



安曇野の魅力を英語で紹介

穂高商業高校英語ボランティアでは、安曇野の民話やそば打ちを紹介する英語パンフレットを制作。松本城に訪れる外国人観光客と話しながら安曇野の魅力を紹介し、旅行の実態を直接聞き取りました。また過去には、市内で行われるイベントで外国人旅行者の案内など、英会話の実践と地域振興を兼ねた活動をしています。



小学生がさまざまな職種に触れる機会となる

穂商マーケット「キッズビジネスタウンほたか」

例年10月に開かれる販売実習「穂商マーケット」では、地元の小学生を招いた就業体験「キッズビジネスタウンほたか」を2日間開催しています。この取り組みは、児童が街の住民となり、仕事探しから企業や官公庁の仕事を体験するなど、社会の仕組みを学ぶユニークな取り組みです。年々参加者が増え、イベント当日は親子連れで賑わいます。また、高校生と小学生、地元企業の交流の場にもなっています。